

令和7年度 学校関係者評価書

| | |
|------------|--|
| 学校名 | 九度山町立九度山中学校 |
| 学校評議員名 | 有馬 貴江、 浦 美幸、 大西 喜三郎、 芝 稔二、 山下 栄亮 (敬称略、50音順) |
| 学校関係者評価実施日 | 評価実施日 令和8年2月20日 |

| | 項 目 | 内 容 |
|---|----------------------|--|
| 1 | 教育目標、教育課程、教科指導に対する意見 | <p>・昨年に引き続き行事の精選に努め授業時間を十分に確保し計画通り教科指導を実施してきたことにより、生徒の学校評価アンケートの設問2番3番4番から授業内容の十分な理解や自己の考えをしっかりとめることができるようになってきたことにつながってきているものと思われます。今後も十分な授業時間の確保と教科指導の工夫改善に取り組んでいってほしいと思います。また、前回同様に保護者に対しての学校理解を深めてもらう取り組みをこれからも工夫改善し、開かれた学校づくりに今以上に取り組んでいってください。</p> <p>・先生方の授業に対する姿勢、時間オーバーとなることなど、一生懸命に取り組んでくださることが感じられます。生徒の評価も概ね肯定的であると感じます。PTA総会の書面決議が続くことなど、保護者側の姿は、消極的だとも言えますが、学校が問題なく運営してくれているからだと言えるのでは、とも思います。</p> <p>・学校評価アンケート(保護者)「子ども一人ひとりが大切にされ、認められる学校になっている」が昨年に比べ、否定的な回答が11.4%へと減っています。きめ細やかな指導や適切な声かけや関わりが持たれているのだと思います。</p> <p>・学校教育目標、経営方針はとてもわかりやすくまとめられていると思います。ただ、評価アンケートの各項目を評価する視点に立つと比較対象がない、あるいは感覚的な回答にならざるを得ない項目もあり、「わからない」という回答を結果的に選んでいるようにも思います。</p> <p>・子どもたちを見ていると、めざす生徒像ができていると感じる。</p> <p>・自己評価報告書に、今年度もPTA総会が書面決議になったと記載されていましたが、保護者アンケートでは昨年度より評価が高くなっていたので良かったです。やはり総会がないので、教育目標や経営方針について直接説明することはなかなか難しいと思います。今後も学校だよりやホームページを通して教育活動などを具体的に説明してほしいです。</p> |

| | | |
|---|------------------------------------|--|
| 2 | <p>「基礎・基本の定着と主体的・対話的な学び」に対する意見</p> | <p>・学力調査の結果が良かったり悪かったりいろいろな時があるようですが、一喜一憂することなく、今の方針に自信を持って進めていただきたいと思います。先生方も研究授業等を通してしっかりとスキルアップを進めて下さっていると感じます。母数が少ないので一人二人が否定的な評価をすればすぐに数字に反映されると思いますが、子供の学力が伸びていないと感じる親の割合がそれなりにあるんだなと思いました。</p> <p>・ここ数年間、生徒が主体的に活動する授業の在り方について研究を行い活動されてきていることが徐々に成果として表れてきていることから、今後も生徒同士が意見交換を行いながら進めていけるような授業の流れを作り上げてほしいと思います。また、家庭学習の習慣化をはかる取り組みとして6限後の九中タイムについても、今以上に家庭学習の内容の深まりにつながるよう充実させていってください。</p> <p>・部活動や委員会活動など大変忙しい学校生活を積極的に送りながら家庭学習のまとまった時間を確保することは難しいように思います。そんな中、九中タイムを活用し、一日を振り返ることで「家庭ですること」へ移行するための時間を継続的に設けているのはすばらしいと思います。家庭学習は細切れの時間の有効活用が大切になるとと思いますので、学習の振り返りがやりやすい教科ノートの工夫や日々の積み重ねが無理なくできる課題の出し方など、さらに改善していただきたいと思います。</p> <p>・昨年11月の学校開放月間に全学年の授業参観をさせていただきました。生徒一人ひとりが学習課題に対して主体的に取り組み、自分の考えを発表したり友達と対話したりなど、共に学び合う授業でした。教師も授業内容をよりわかりやすくするために教材の中身を考えたり、その子にあった問いかけをしたりなど、楽しい時間だなと感じました。</p> <p>・今後も子どもたちに合った指導方法の工夫改善に努めていただければ幸いです。</p> |
| 3 | <p>「豊かな心とたくましい心身の育成」に対する意見</p> | <p>・基礎的な人格形成の大事な時期に、学校としてしっかりと努力して下さっていると感じます。複雑な家庭環境、不安定なネット情報等で先生方には難しい状況が感じられると思いますが、努力を続けていただければありがたいです。</p> <p>・前年度以上に、よりよい社会の一員として今後自分はどうあるべきなのか等、自分の在り方を考え合う時間を増やし、多様性の社会に対応すべく今以上に道徳的心情を耕す取り組みを続けてほしいと思います。また、今後も対話的な学習形態を取り入れた道徳の授業を行い、学習内容を深めていってください。</p> <p>・学校評価アンケート（生徒）「学校で命の大切さや社会のルールについて学んだ」の肯定的な回答が高く、特別の教科道徳の学校全体での指</p> |

| | | |
|---|-------------------------------|--|
| | | <p>導計画に基づいた授業が、生きた授業になっているということだと思います。対話があることで様々な考え方や価値観を知り、体験することで疑問や問題に気づき、自分や他者を受容する力を育てているように思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生になってくると、親として子どもが今何を考えているのかが読み取りにくい時期になってくると思います。家庭では安心して生活できる環境作り、また学校では生徒同士の人間関係を良くし、楽しい学校であってほしいと思います。生徒アンケートを見ると「学校へ行くのが楽しい」と答えた生徒が昨年度より上回っていたので安心しました。 ・生徒が楽しく学校に行くためには、第一に「健康」であってほしいと思います。 ・先生と生徒の信頼関係の構築を基本とし、今後も指導をお願いしたいです。 |
| 4 | <p>「未来の創り手となる生徒の育成」に対する意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学習・職場体験等、未来を考える上では素晴らしいプログラムだと思います。そして、それを発表するというアウトプットの部分をこれからも大事にしていきたいと思います。 ・多種多様な場面において生徒に主体性を持たせた活動の場を設定し、体験的な活動を行って行くことによって将来の自分の在り方について考える場となることと思います。 ・今後もキャリア教育指導の今以上の工夫改善に取り組み、生徒一人一人が将来の夢を持ち自主的・主体的に活動していけるようご指導お願いします。 ・体験活動はとても丁寧に進められていると思います。その結果が学校評価アンケート（生徒）「学校で命の大切さや社会のルールについて学んだ」に現れていると思います。その学びを自身に引き寄せ「目指す人間像になるために、今自分は何ができるか」と自分の行動や意識に落とし込んでいく力をつけていけるようになってほしいです。あいさつ、身だしなみ、伝える、手伝いをするといった項目にもつながっていくものだと思います。 ・中学3年間で「ふるさとを知る」「職場体験をする」「地域の福祉体験をする」このような体験活動ができることは生徒一人ひとりが夢や希望を持ち、将来の目標に向かって一步一步近づいていけることと思います。 ・生徒一人ひとりが自分のふるさと（九度山町）を知り、地域社会の一員として自分ができることを見つけ、活躍できることを期待しています。 |

| | |
|-------------------------|---|
| <p>5 その他の教育活動に対する意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・少人数の学校とはいえ、生徒一人一人への配慮はたいへんな労力だろうと思います。限られたマンパワーをうまく配分して、生徒を育ててくださる努力に頭が下がります。先生方にできるだけ無理のないようにこれからも進めていただければと思います。 ・生徒数の減少や職員数の減少に伴いクラブ数が減少するのは分かるのだが、一人ひとりの生徒の思いを考えると、今後もクラブの在り方について考え取り組んでほしいと思います。 ・TT指導は、先生方は忙しく大変だと思います。が個々によって指導方法、声をかけるタイミングも配慮されているのが伺えました。子どもたちの状況を共有した上でのTT指導を是非続けていただきたいです。 ・学校評価アンケート（生徒）「学校へ行くのが楽しい」と9割以上の子どもが回答していることに驚きました。とても素敵なことだと思います。 ・学校評価アンケート（生徒）「先生たちは自分が努力したことを認めてくれる」に否定的な回答が8.9%あることが気がかりです。先生からの励ましや更なるステップアップへの思いや応援が前面に出たことで「努力を認めている」ということがうまく伝わりきっていなかったのではないだろうかと思います。 ・特別支援教育は「私たちの教え方で学べない子には、その子の学び方で教えよう」だと思います。九度山中学校の教育はそれを実践していると思います。 ・子どもたちが「学校へ行くのが楽しい」が94.7%でした。うれしいです。 ・11月に参観させていただいた時、授業を見ている自分が楽しかったです。毎日このような授業なら、生徒の学力向上につながると思います。また、友達との意見交換などの時もスムーズに相談し、お互いの意見の交換ができる姿に心が和みました。今後も楽しい雰囲気の中で授業ができる環境を作っていただけたらうれしく思います。 ・保護者からの意見や要望について、担任の先生が相談に親身に聞いてくれること、いつも子どもたちを温かく見守ってくれることがうれしいとの回答があり、とてもうれしいことです。今後も保護者や生徒との信頼関係を築いてほしいと思います。 ・いじめのない学校づくりに今後も取り組んでほしいです。 |
|-------------------------|---|